

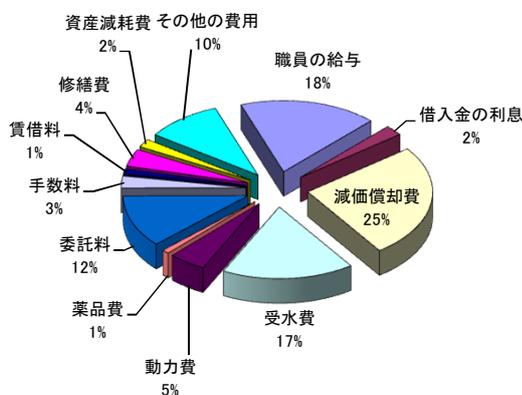
## 平成28年度水道事業決算状況

私たちの生活に欠かせない水道水をご家庭にお届けする水道事業は、水道料金の収入を主な財源として、独立した会計で運営しています。そのため水道事業会計は、税金を財源とする一般会計と区別し、「特別会計」とされています。

町議会において、平成28年度の決算が認定されましたので、その状況についてお知らせします。

	1㎡当たり費用額 (円)
職員の給与	36.13
借入金の利息	4.73
減価償却費	51.75
受水費	34.54
動力費	9.72
薬品費	1.88
委託料	23.84
手数料	5.43
賃借料	2.39
修繕費	7.94
資産減耗費	3.75
その他の費用	19.9
計	202.00

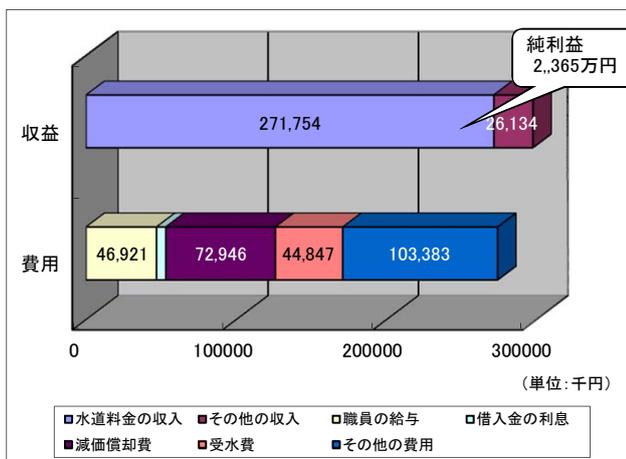
水道水1㎡当たりの費用 202円00銭



### 収益的収支・・・水をつくり、ご家庭にお届けするための収支を表したものです。

※平成28年度決算においては、2,365万2千円の純利益となり、繰越欠損金は7,297万8千円に減少しました。

(単位:円)		
収益(収入)	水道料金の収入	271,754,390
	その他の収入	26,133,564
費用(支出)	職員の給与	46,920,847
	借入金の利息	6,139,520
	減価償却費	72,945,566
	受水費	44,847,031
	その他の費用	103,382,644
	純利益	2,365,200



※受水費・・・埼玉県企業局からの県水購入費

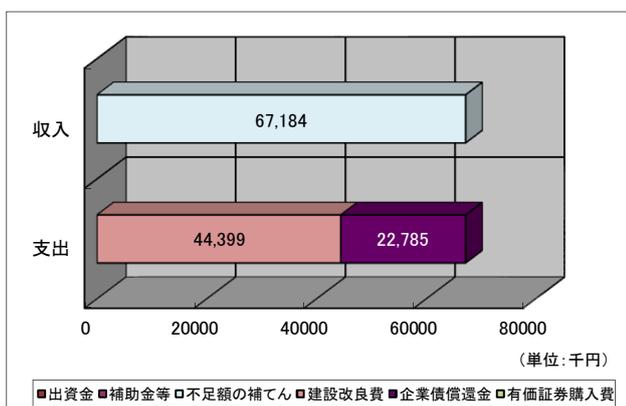
※減価償却費・・・水道管などの資産の使用時の経過によって生じる減耗分を費用化

(単位:円)	
収入	297,887,954
支出	274,235,608
<b>純利益</b>	<b>23,652,346</b>

### 資本的収支・・・浄水場の改良や水道管の布設など施設を整備拡充するための経費と財源です。

※資本的収支の収入は、国、県または町(一般会計)などからの負担金、出資金及び補助金などであり、支出に対する不足額は、実際の現金支出がない収益的支出の減価償却費など(過年度分損益勘定留保資金)で補てんしました。

(単位:円)		
収入	企業債	0
	出資金	0
	不足額の補てん	67,183,633
	補助金等	0
支出	建設改良費	44,398,581
	企業債償還金	22,785,052
	有価証券購入費	0
	その他	0



## 平成28年度に行なった主な建設改良事業

(単位:円)

膜ろ過施設主系膜更新工事	9,936,000
東武越生線軌道下配水管布設替工事	9,590,400
石綿管更新舗装本復旧工事	6,199,200
白根橋関連老朽管更新工事	3,682,800
黒山地内老朽管更新工事	3,152,520
上台地内配水管布設替工事	2,302,560
流量計変換器盤移設工事	1,728,000
葛蒲谷増圧場ポンプ更新工事	1,360,800

## 有収水量と純利益・給水人口と有収水量の推移

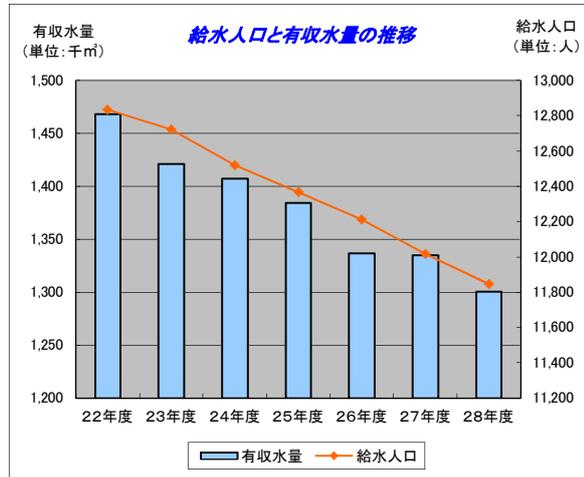
下記のグラフは、過去7年間の有収水量(使用水量のうち料金収入の対象となった水量)と、純利益(収益的収支の収入と支出の差額)及び給水人口の推移を示しています。

水道料金が収入の9割以上を占めているため、有収水量の増減が純利益に与える影響が大きい状況にあります。

有収水量(水需要)は、近年の節水意識の向上並びに人口の減少などから年々低下しております。

一方、純利益は、平成22年度まで黒字決算となっておりますが、平成23年度から赤字に転じ減価償却費が増大する反面、給水収益の減少に伴い平成26年度まで赤字となっていました。このような状況のなか、赤字解消を主な目的とし平成27年4月より料金改定を行い、平成27年度決算は黒字に転じ、平成28年度も黒字となりました。

水道事業は、安全な水を安定して供給するために、老朽化が進む施設の更新整備が不可欠であり、これに必要な額の純利益が将来にわたって確保されなければなりません。これからも引き続き経営改善を図ってまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。



## 平成28年度 越生町水道事業 貸借対照表・損益計算書

### 《貸借対照表》

貸借対照表は企業の財政状態を明らかにするため年度末において保有する全ての資産、負債及び資本を総括的に表した報告書です。

(単位:円)

資産の部		負債の部	
固定資産	1,466,705,509	固定負債	124,842,722
有形固定資産	1,436,311,259	企業債	124,842,722
無形固定資産	10,394,250	流動負債	46,842,221
投資	20,000,000	企業債	23,820,314
流動資産	295,941,200	引当金	5,300,000
現金預金	274,390,591	未払金	17,606,688
未収金	9,818,630	預り金	28,506
貯蔵品	11,931,979	前受金	86,713
その他流動資産	△ 200,000	繰延収益	136,766,435
		長期前受金	449,652,410
		長期前受金収益化累計額	312,885,975
		負債合計	308,451,378
		資本の部	
		資本金	1,213,863,600
		自己資本金	1,213,863,600
		剰余金	240,331,731
		資本剰余金	22,079,410
		利益剰余金	218,252,321
		資本合計	1,454,195,331
資産合計	1,762,646,709	負債・資本合計	1,762,646,709

### 《損益計算書》

損益計算書は一事業年度における企業の営業成績を明らかにするために、その年度中に得たすべての収益からそれを得るために要した費用を記載し、純損益を表示した報告書です。

(単位:円)

収入の部		支出の部	
営業収益	289,730,468	営業費用	266,725,564
給水収益	271,754,390	原水及び浄水費	99,446,969
受託工事収益	5,354,209	配水及び給水費	40,488,492
その他の営業収益	12,621,869	受託工事費	4,777,246
営業外収益	8,157,486	総係費	44,170,569
受取利息	161,339	減価償却費	72,945,566
他会計補助金	1,509,580	資産減耗費	4,868,710
長期前受金戻入	5,747,847	その他営業費	28,012
雑収益	738,720	営業外費用	6,149,231
特別利益	0	支払利息	6,139,520
固定資産売却益	0	雑支出	9,711
過年度損益修正益	0	特別損失	1,360,813
		固定資産売却損	0
		過年度損益修正損	1,360,813
		支出合計	274,235,608
		当年度純利益	23,652,346
収入合計	297,887,954	合計	297,887,954